

総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団との関わりについて

～高月総合型スポーツクラブ設立準備委員会に注目して～

吉川 彩香 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)

指導教員 新井 博

キーワード：総合型地域スポーツクラブ,スポーツ少年団,地域発展

1. 緒言

現在,国民の運動不足,子供の体力低下,少子高齢化社会の進展,地域社会の希薄化などが挙げられている.そこで,いつでも,どこでも,いつまでもスポーツができる環境づくりや,地域コミュニティがかつて有していた機能の再構築が求められると考えられる.文部科学省は,地域コミュニティの役割を担うスポーツづくりに向けた地域住民の自主的な運営を目指す総合型地域スポーツクラブ(以下,総合型クラブ)の設立を実施してきた.

総合型クラブはクラブにより特徴は様々であるが,その中でも総合型クラブとスポーツ少年団との連携は大変興味深い.

そこで本研究では,スポーツ少年団と総合型クラブが連携して運営を行うことによってどのようなメリットやデメリットがあるのか明らかにすることを目的とした.

2. 研究方法

1) 文献調査

2) 高月総合型スポーツクラブ設立準備委員会のスタッフの方にアンケート調査及びインタビュー調査を実施した.

3. 結果と考察

本研究では,立ち上げに関与していた高月総合型クラブ設立準備委員会に注目し調査を行った.

その結果,総合型クラブとスポーツ少年団との連携は人材の確保やスポーツの可能性が広がることがメリットとして挙げられた.しかし,高月町の場合,総合型クラブとスポーツ少年団の活動は同じではなかった.スポーツ少年団は少年団員のための活動であり,総合型クラブは

これから参加してみたいという住民に対しての活動であるということがわかった.

年々スポーツ少年団が競技型になることにより,総合型クラブの目的と反することも出てきた.そのため,指導者や総合型クラブのスタッフ同士の考え方や意見の違いが問題の一つとなる.

4. まとめ

本研究において,総合型クラブでは,地域に合ったクラブづくりを行うことが地域発展や町づくりにつながることを示唆された.一方で,スポーツ少年団と総合型クラブは理念や目的が異なるところもあり,すれ違う点もあった.しかし,様々な機関との連携を図ることが大切であり,お互いがメリットになるような活動を進めていくことが必要であることが明らかにされた.また,スポーツ少年団では競技性が強くなることで総合型クラブとの連携は難しくなる.そしてそれは,子どもたちのスポーツ離れの原因の一つにもなっていく.

そのため,合同運営を行っている総合型クラブを調査し,スポーツ少年団と総合型クラブがより良い連携を図りながら運営が行われるよう,更に研究を進めていくことが今後の課題としてあげられる.

参考文献

- 1) 日本スポーツ少年団(2009)「スポーツ少年団の将来像」28.p.
- 2) 藤田雅文・前川勝秀(2009)「総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団の連携に関する研究」第24巻